文部科学省現代 GP シンポジウム

東京海洋大学"水圏環境リテラシー教育推進プログラム"

～リテラシー教育に期待する人材育成の将来像～

入場無料

目　的

「水圏環境リテラシー」とは、海を中心とする水圏環境を総合的に理解する能力、即ち「水圏が我々に及ぼす影響、及び我々が水圏に及ぼす影響を理解する能力」です。

この水圏環境リテラシーの能力を有する者は、① 水圏環境の機能についての基本概念を理解し、② その知識を他者に正しく、わかりやすく伝えることができ、③ 水圏環境や資源について、広い見識に基づく、責任ある決定を行うことが出来ます。

わが国は、四方を海に囲まれた海洋国家であるにもかかわらず、水圏環境の機能やその利用・管理について総合的に理解し、水圏環境教育を推進する人材を十分に輩出するための体制が整ってはいません。

平成 19 年 4 月に成立した「海洋基本法」は、その第 28 条において、「海洋に関する国民の理解の増進」を法制定の目的の一つに上げており、大学等において海洋に関する知識及び能力を有する人材の育成を促しています。

そこで、こうした社会的要請を受け、わが国唯一の海洋系総合大学である東京海洋大学は、「水圏環境リテラシー教育推進プログラム」を立ち上げ、本年度よりカリキュラムをスタートさせました。このシンポジウムでは、各カリキュラム担当者の成果報告と、海に関する様々な活動家、教育者、研究者を交え本カリキュラムに期待される人材育成の将来像を探ります。

日　時　平成 20 年 11 月 30 日（日）13：00～16：00

場　所　東京海洋大学品川キャンパス 楽水会館鈴木善幸ホール

スケジュールならびに発表タイトル、担当者　総合司会：岡本 信明

プログラム

12：30～13：00	受　付	
13：00	ご 挨 拶	学長　髙井 陸雄

第 1 セッション水圏環境リテラシー教育推進プログラム

13：10	「プログラムの成果概要」	東京海洋大学水圏環境リテラシー実行委員会委員長　川下新次郎
	「水圏環境リテラシー学」	東京海洋大学　河野　博
	「水圏環境リテラシー学実習」	東京海洋大学　田村　祐司
	「水圏環境コミュニケーション学」	東京海洋大学　佐々木　剛
	「水圏環境コミュニケーション学実習」	東京海洋大学　池田　玲子
14：00～14：10	休　憩	

第 2 セッション地域における水圏環境教育の実践事例

14：10	「教育現場における実践」	神奈川県立海洋科学高等学校教諭　水野　彰
14：25	「地域における実践」	■■■■■■■■　■■　■■
14：40	「漁業現場における実践」	青年漁業士　山根　幸伸
14：55～15：05	休　憩	

総　合　討　論

15：05	総合司会　川下 新次郎	
	「東京海洋大学 " 水圏環境リテラシー教育推進プログラム " に期待される人材育成の将来像」	
		神奈川県立海洋科学高等学校教諭　水野　彰
		■■■■■■■■　■■　■■
		青年漁業士　山根　幸伸
		全国水産高等学校長協会　杉本　裕幸
		東海大学海洋科学博物館館長　西源　二郎
		海に学ぶ体験活動協議会代表理事　海野　義明
		独立行政法人水産総合研究センター遠洋水産研究所所長　魚住　雄二
		東京海洋大学　河野　博、田村　祐二、佐々木　剛、池田　玲子
16：00	閉会の言葉	海洋科学部長　小川　廣男

参加費無料　どなたでも参加できます。申し込み不要。当日は遅れないように大学に来てください。（満員の際はお立ち席になることがあります。）